



言葉を選んで使うことができるように

— いじめ防止強化月間 一緒に考えましょう —

校長 鈿持 利行

「『チョーウザイ』『まじキモイ』このような言葉をよく耳にする。小学校高学年から高校生までの誰もが一度は口にはしているのではないだろうか。私の中学校でも、そのような流行語が飛び交っている。意味や響きからして好ましくない言葉を、軽々しく口にする。何気なく発しているが、言われた方は傷つくし、悩むと思う。そのような言葉を口にする人が一日に何回言うか数えてみたら10回以上は口にはしていることがわかった。言った方は言った分だけ苦い思いをするし、言われた方はその分、嫌な気持ちになってしまう。良いことは何一つなく、悲しみだけが残る。そんなことにならないためにも、冷酷な言葉を発するかわりに、『ありがとう』『うれしい』など、言った方も言われた方も気分が温かくなり、笑顔があふれるような言葉が当たり前飛び交う、そんな毎日になることを強く願っている。」

これは、新聞の投書に掲載された中学生からのメッセージです。是非、高松中の学校生活のなかでも家庭生活においても「ありがとう」「うれしい」等でいっぱいの花が咲くように子どもたちを見守っていくことをお願いいたします。高松中学校の生徒たちは素直な面や誠実な面、とても素晴らしいものをもっています。お互いを思いやり、認め合い、支え合える人間関係を、さらに信頼関係に構築していくためにも、『言葉遣いに着目して、言葉を選んで使うことができるよう』、今後も、指導を重ねていきます。

東京都では、6月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」として、生徒、学校関係者に限らず、すべての都民がいじめ問題について理解を深め、いじめ根絶の方法等について考え、生徒たちが健やかに楽しい学校生活を送ることができるよう、みんなの力を合わせることを目的として進めています。

本校においても、道徳の授業、学級活動等がいじめ問題を積極的に取り上げ、いじめ防止に努めてまいります。保護者の皆様も、是非この機会にご家庭でもいじめ問題について話し合ってみてください。



※詳細は、東京都教育委員会HPで確認ください。

平成29年度 第68回運動会

スローガン： 一戦一笑 ～俺がやらなきゃ誰がやる 今やらずにいつできる～

6月3日（土）晴天の中、本校の2大行事のひとつである運動会が盛大に行われました。この日のために、3年生の応援団が中心となり、朝早くから応援や学年練習に取り組んで参りました。そして迎えた運動会当日、競技はもちろんのこと、応援でもその力を十分に発揮し、全力で取り組む姿は、観る人に感動を与えてくれました。たくさんのご来賓、保護者・地域の方からの大きな声援も生徒の励みになりました。暑い中、ご来校いただきありがとうございました。

《表彰一覧》

- ◆色別〈競技〉 優勝 赤組（1年1組・2年1組・3年1組）
- ◆色別〈応援〉 優勝 黄組（1年3組・2年3組・3年3組）
- ◆学年別〈競技〉 優勝 1年1組 2年1組 3年1組

◆ ポスター賞

【最優秀賞ポスター】 2年2組 ○○ ○○

○○ ○○
(敬称略)



保健体育科（梶原先生より）

昨年度から運動会実行委員を立ち上げ、練習から本番まで全て生徒主体で行う運動会を目指し、準備を行ってきました。

選手の想いのつまった選手宣誓、個性のあふれる応援合戦など、高松中生の頑張りが表れた運動会でした。

優勝したクラスも、思うような結果が残せなかったクラスもそれぞれにドラマがあり、絆が芽生え、生徒一人ひとりの心に残る運動会になりました。

【優秀賞ポスター】 2年2組 ○○ ○○

(敬称略)



各色応援団ハイライトシーン！ どの団もチームワークがよく、素晴らしかったです！！



応援団の取り組み（金ヶ瀬先生より）

団員が本気で悩み、本気で挑戦する姿を間近で見ました。応援団、特に3年生は集団をまとめ、引っ張ることの難しさを感じつつ、声を枯らして頑張っていました。うまくいかないことがあってもひたむきに取り組む姿勢、運動会を盛り上げたい、成功させたいという思いがある団員たちと共に頑張った日々は忘れられません。